

湖西大学への協定留学（交換留学）月例報告書（2月分）

文化政策学科 3年

【渡韓前・準備について】

湖西大学には、日本人の先生がいません。留学生担当の先生も最近変わったそうです。一斉返信・一斉送信が基本のようで、入学許可書など書類が届くのになかなか時間がかかりました。必ず届くので気長に待つ心も大事かもしれません。もちろん、早め早めに動く心がけも必要だとは思いますが。

私は、本当に何も知らない状態から、準備を始めました。日本にはなにか聞ける学生が少なかったため、1年前、半年前にそれぞれ湖西大学に協定留学に行った文芸大の学生と連絡を取りながら、準備を進めました。ネットに載っている情報も参考にはしましたが、自己開拓の留学の人の情報が多いため、鵜呑みにできないところがありました。

ビザ取得のために横浜の領事館に予約をして行かなければならないと聞いていたので、少し心配していましたが、住民票を静岡へ移していなかったため、名古屋の領事館に行けばよかったという点は運が良かったと思います。予約をする必要も無く、時間内に受付をすればよかったので、聞いていたほど負担ではありませんでした。申請も書類を提出するだけで、10分ほどで領事館を出られたと思います。

【渡韓初日・pickupについて】

2月26日の中部国際空港から仁川空港の便に乗りました。普段、旅行で渡韓する時は遅くとも2ヶ月前には航空券を予約するため、10,000円前後で購入できるのですが、今回は2倍以上の金額になってしまいました。預け荷物を1つ追加したため、普段より高くなるのはおかしいことではありませんが、渡韓日まで1ヶ月を切ったタイミングで予約をしてしまったため、思っていたよりも高くなってしまったのだと思います。

空港から大学までのpickupの日時が分からず、「連絡が来てから」と思っていたので、予約時期が遅れてしまいました。pickup時期は、学期開始日の前週水木金だと思っていたら大丈夫とのことでした。

渡韓は初めてではなかったため、空港での不安や心配はなかったです。pickup場所や時間は、kakao talkを使って連絡を取っていました。入国審査に予定より時間がかかってしまい、当初の時間に間に合わず、次の時間にpickupしてもらいました。よくあることだから気にしないでと言われました。

【寮について】

2人部屋で申請をしていましたが、4人部屋に案内されました。同じ日の早い時間に着いていた子から、「この部屋には今5人の学生がいる」と聞き、担当の方に確認をお願いしたところ、後日2人部屋に移動できるとのことでした。私が、英語を全くできないことを

心配してくださって、韓国語が全くできない子たち3人と同じ部屋で過ごすよりは、2人部屋のほうが負担は少ないだろうと提案してくださいました。2人部屋でルームメイトになる子も相手が私で大丈夫だと言ってくれていたみたいで、次の日に2人部屋への移動が決まりました。ルームメイトの子は、ロシア圏からの学生で、韓国語が全くできないため、英語で会話をします。私は、英語ができないので、お互いよく翻訳アプリを使っています。

【手続きに関して】

手続きの書類は、湖西大学側で用意していただけます。日本から持って行くものとしては、パスポートと背景が白色の証明写真、マイナンバーカードです。現金も必要なのですが、大学内にある銀行で換金が可能なので、日本円を現金で持っていればどうにかになりました。

書類の記入は30人くらいの学生が集まって一斉に説明を受けながらだったのですが、私以外が中国からの学生で、説明も中国語でした。文芸大での第一言語専攻が中国語だったので、ある程度理解はできましたが、不安なところは「日本人だから、韓国語で説明してほしい」と担当の方をお願いして手伝っていただきました。

【感じたこと】

中国、ベトナム、ロシア圏など他の周りの学生には、メンターの役割をしてくださる出身の先生や先輩がいらっしゃって、母国語で相談したり話したりできる環境があるのは正直羨ましいです。ここには、日本人の先生はいませんが、日本語ができる先生方、事務の方がたくさんいらっしゃって、日本語でメッセージを送ってくださったり、日本語で話しかけてくださったりととても気にかけてくださいます。「何かあったらいつでも連絡してくれたら大丈夫」ともたくさん言っていただいています。

また、関わった周りの留学生のほとんどが日本を好きだと、好きな Japan culture について語ってくれたり、知っている日本語を使ってくれたり、ととても温かい環境にいるなと感じています。

来て少し後悔していることがあるとすれば、英語の勉強をしておけば良かったと言うことです。英語を話せないため周りの留学生とコミュニケーションをとる共通言語がなく、到着してから授業が始まるまでの数日ですが今がとても不安です。韓国語さえ勉強してあればどうにかなるだろうと思っていたため、甘かったなと反省しています。しかし、自身が思っていた以上に韓国語が通じるらしく、職員の方や食堂の方、お店の方とのやり取りを他の留学生に通訳することが出来るのは、日本の大学で韓国語の講義を2年間履修した後、大学4年生になる少し遅めの時期に留学をした私の特権なのかもしれないと思うようにしています。